

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

災害に強い優良住宅

グループの名称

三重の快適住宅をつくる会

直近採択グループ番号

06-0170-0497

(グループ代表者)

代表者名

上村 義一

代表者印

代表者所属先

株式会社上村工務店

代表者所在地

三重県志摩市阿児町鶴方2462-3

代表者電話番号

0599-43-2402

(グループ事務局)

事務局事業者名

パナソニックリビング中部株式会社

事務局担当者名

佐藤 竜也

印

事務局郵便番号

514-0031

事務局所在地

三重県津市北丸之内166

事務局電話番号

059-291-7200

事務局FAX

059-291-7201

事務局担当者E-mail

sato.tatsuya1@jp.panasonic.com

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		30	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	30	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	5	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		30	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	30	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	5	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		15	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	5	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	28	戸	交付申請戸数	18	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	18	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	棟	戸			
採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 災害に強い優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 三重県全域及び近隣地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 三重の快適住宅をつくる会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0170-0497	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・近い将来予測される地震や台風など災害に備え、長寿命型は耐震等級2以上とし、等級3と制震ダンパー設置を推奨する。 ・断熱、省エネ性能を重視 BEI 0.8以上の木造住宅。Ua値は0.6以下とします。 ※壁・屋根(天井)の断熱材は高性能ウレタンを推奨します。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・木造軸組工法とします。 ・災害時を想定した場合非常用水の取れる貯湯式(エコキュート)給湯器を推奨します。 ・省エネ性能を上げるため区分「い」の高性能エアコンを推奨します。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・三重県は比較的、海岸線に隣接する地域に住宅地が多いため、夏季などは特に高温多湿な生活環境に配慮し、通風や軒の出、窓形状などを考慮したデザインとします。 ・建設地の街並みガイドライン等に基づき、地域に相応した外観とします。	◎
④①～③の背景	・南海トラフ地震の地震防災対策推進地域に指定されており、住宅に於いても耐震への備えが求められています。 ・三重県津市の2017年の12月から2018年3月までの最低気温マイナスの日が15日もあり寒暖差が大きく家庭内事故増加しています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・建築主の権利保護の為、BELS認証取得など住宅の性能みえる化を進めます。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・柱は3.5寸を標準に4寸も可とします。 ・集成材はJAS認証品とします。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・工業製品については標準採用メーカーを絞り込み、コスト対応をおこないます。 ・内装・下地材は☆F4を仕様します。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・断熱及び設備は標準仕様を定め推奨します。	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・構成員の成功事例を共有し合理化に関しレベルアップに取り組みます。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心になって、他地域の成功事例や取組みを構成員に周知・紹介します。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・メーカーや工法の施工書に添った施工を基準にします。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・瑕疵保険の検査の前に自主検査を実施、結果を照合してレベルアップを図ります。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・週休2日を導入している事業者の事例を発信し、取組みへの意識強化を図ります。 ・週休2日、月次残業時間の規制を踏まえ、工期延長、費用増を見込んだ契約とする様注意喚起を行ないます。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・手当等資格取得支援の事例を紹介し、取組み支援を行います。 ・建設キャリアアップシステムを紹介し、登録を推奨します。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・入場者名簿作成の徹底を推奨します。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・安全衛生協議会等を開催した経験の無い事業者に開催の為の資料提供を行い開催の支援を行ないます。今年度は墜落災害防止を重点取組みとします。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・民法改正を踏まえ、契約書の見直しを推進していきます。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 災害に強い優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 三重県全域及び近隣地域		
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 三重の快適住宅をつくる会	(結成年) 2017年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0170-0497			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】				
a	① 住宅蓄積情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報の見える化をし、外部サービス期間を活用する。	◎
	蓄積情報の	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員が加盟しているサービス機関に対応する。無い場合はパナソニック㈱のリビングベルを紹介します。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し時にサービス期間・利用法を説明し、施主様が随時確認できるようにします。	◎
		② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書は事務局が共通のフォーマットを作成し活用します。
	住まいの管理	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修時は新築時と同様施工マニュアル通りに施工を行い、履歴を蓄積します。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部情報サービスの活用により、建築主自らが確認出来る様にします。	○
		③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主体となりOB施主を中心に予定客も含めお手入れの説明会を実施します。
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 相談会・イベント等に木工教室等施主様向けの体験会を実施します。	○	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心になって、住まいのお手入れやリフォーム相談会を実施します。	○
		④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 保険法人等第三者機関の点検サービスを紹介し、推奨する。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員をバックアップビルダーとするスキームを作り、構成員より施主様に案内します。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担保保険法人に協力を求め、過去の事例で学ぶ研修会を開催します。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】				
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店については事務局や設計構成員が支援します。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準施工書通りの施工を実施します。	◎	
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 公会等の開催時に徹底すると共にアンケート等により確認を図ります。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年度初めに構成員等に事業計画を策定、それに元づき需給計画を策定します。	○	
		③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2年後の改正省エネ基準義務化に向け構成員の技術向上を図ります。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 成功事例を各業種の構成員で共有し合理化を進めます。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 2	◎	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて開催日を把握、情報を発信し構成員に参加を促します。	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 災害に強い優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 三重県全域及び近隣地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 三重の快適住宅をつくる会	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0170-0497	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	・地域材は国内、国外の合法木材とします。 ・主要構造部は過半に地域材を使用する。	
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">合法木材の証明制度</p> <pre> graph LR A[原木供給者] --> B[製材集材事業者] B --> C[プレカット加工事業者] C --> D[木材を扱わない流通事業者] D --> E[中小工務店] F[海外事業者] --> A D --> G[合法木材の証明書] G --> E </pre> </div>	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○
	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が木材構成員と在庫状況を共有し、随時施工構成員に情報を発信します。	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が木材構成員から価格変動などの情報を収集し、随時施工構成員に発信します。	
	② グループ全体における地域材の需給予測	○
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・四半期毎に事務局が施工構成員から情報を収集し木材構成員に需要予測発信する。	
c	①-1 畳の活用	○
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用予定数(1畳換算)500枚	
	①-2 和瓦の活用	
	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	○
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・今年度の使用予定枚数(3×6換算)80枚	
	①-4 障子の活用	
	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	
	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	◎
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域の条例や景観ガイドライン等に元つき街並みに配慮した設計をします。	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	◎
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・3世代住宅を中心に高齢者に配慮し、和室の設置の提案をします。	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 災害に強い優良住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 三重県全域及び近隣地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 三重の快適住宅をつくる会	<small>(結成年)</small> 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0170-0497	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>【高度省エネ型(認定低炭素住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年省エネ基準以上の断熱性能を確保します。 併せて、省エネ設備機器(節水・節湯)の採用によりBEI 0.8をクリアします。 1次エネルギー消費量計算結果を元に、省エネ性能を判り易く表示、お客様への信頼向上に努めます。 2項目の低炭素措置は木造と節水設備の採用とします。 <p>【高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年省エネ基準以上の断熱性能を確保します。 併せて、省エネ設備機器(節水・節湯)の採用によりBEI 0.8をクリアします。 1次エネルギー消費量計算結果を元に、省エネ性能を判り易く表示、お客様への信頼向上に努めます。 <p>【高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外皮、開口部性能を強化する為、高性能断熱材、樹脂サッシの採用を推進し、Ua値0.6以下基準とした外皮性能を基準とします。 当会で実施するゼロエネルギー住宅性能に関しては、RO値25%、またはR値を100%以上を目標とします。 上記以外にも、間取りプラン等の工夫や高効率省エネ機器を採用して太陽光発電に頼りすぎない快適で安全な住宅提案を施主様に実施します。 BELS評価書の取得によりゼロエネを確認します。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。